

1月 きゅうしょくだより

令和8年
いなみちよう
稲美町

新年あけましておめでとう ございます。

今年もみなさんの健やかなびと体の成長を願って、
おいしく安全安心な給食を届けられるように励みます。



今年度は、「いなみ、子 大好き給食week!」を
テーマに、町制70周年 好きな給食アンケートの料理
から献立をたてました。稲美町産や兵庫県産の食材を
いつも以上に多く使っています。

稲美町の給食の歴史

昭和34年
(1959年)

加古小、母里小、天満小で給食が
開始される

昭和50年
(1980年)

天満南小で給食が開始される

昭和57年
(1982年)

天満東小で給食が開始される

平成8年
(1996年)

町内産の野菜・果物を積極的に
使用するようになる

平成23年
(2011年)

稲美町ブランド米「万葉の香」を給食
の米に使用するようになる

平成26年
(2014年)

稲美中、稲美北中で給食が開始される

野菜・果物

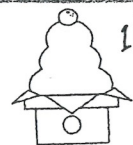
「稲美町の子どもたちに、生産者さんの
顔が見えるものを食べさせたい!」

という思いから始まり、今では40種類
以上の農作物を使用しています

ごはん

「稲美町の子どもたちに町内でとれた
おいしいお米を食べて成長してほしい」

という思いから「万葉の香」を使用しています



1月の目標

食 物を大切にしよう

? 私たちが食べているものはどれくらい日本でつくられて

いるのだろう

その国の食料がどのくらい国内でつくられているかを割合で示したものを
食料自給率といいます。日本の食料自給率は38%で、残りの
62%は外国からの輸入に頼っています。品目別でみてみましょう。

(品目別自給率 R5年度 - 農林水産省)

魚(食用) 54%



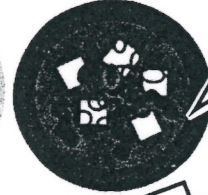
野菜 80%



牛乳 63%



米 99%

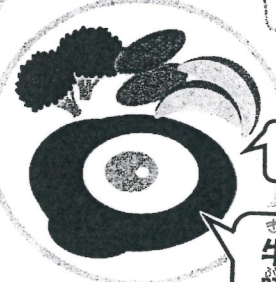


大豆 7%

海藻 65%



小麦 17%



卵 96%

牛肉 40%
豚肉 49%

食料自給率が低いと、外国との関係が悪くなったり、天候不良で作物が
不作のときに、日本に食料が届かなかたり、食料の値段が高くなったりします。
安定した食を営むためには、必要分を自分の国で賄う必要があります。

食料自給率を上げるには...

。ごはんを中心に野菜をたっぷり



日本で栽培されている
ものを積極的に食べよう!

。食べ残しをなくす



今ある食べ物を
大切にしよう!